



2025年度SAFEアワード ウェルビーイング部門 ブロンズ賞受賞

# スマホを使用したKYTの進化 通常のKYTと「フォークリフトに特化したKYT」

株式会社 カインズ

総務部 リスク対策室 安全対策グループマネジャー

加藤 友信

## カインズのご紹介

ビジョン：「世界を、日常から変える。」



- 日本の、世界の暮らしのそばに寄り添い続けることが私たちの目標
- 暮らしを豊かにする価値ある商品・サービスを開発し、お値打ちな価格で毎日提供
- Kindness（親切心）と創意工夫のアイデアあふれる店舗づくり

「暮らしに、ららら。」をお届け

## 企業概要

設立

1989年3月1日

事業内容

ホームセンターチェーンの経営

売上高

5,874億円（2026年2月末）

店舗数

266店舗（2026年5月末時点）

本部所在地

埼玉県本庄市



# スマホを使用したKYTの進化

## 通常のKYTと「フォークリフトに特化したKYT」

事業者名	株式会社カインズ
業界・業種	小売業
従業員規模	約2万6千名
地域	埼玉県

### 背景 (課題・ニーズ)

2018年以降、順調に労働災害件数は減少傾向が続いているが、フォークリフトの物損事故が高止まりしている。2022年度にゴールド賞を受賞した「スマホを使用したKYT」を労働災害を減少する目的のKYTとは別に、「フォークリフトに特化したKYT」を2025年度より新たに企画・設計し、フォークリフトの事故減少・撲滅を図る

### 取り組んだプロジェクト内容

KYT実施率: 85% ~ 88% (約22,000名 ~ 23,000名) が毎月実施し、高い実施率を維持  
重点管理したいポイントを絞り、2種類のKYTを作成・実行

通常のKYT			フォークリフトに特化したKYT	
<p>危険予測</p>	<p>発生原因</p>	<p>対策</p>	<p>危険予測</p>	<p>発生原因</p>

### やってみての効果

2025年 事故総件数: 65件 (KYT開始の2022年比58%、47件減少)  
 フォークリフト事故件数: 11件 (前年差 9件、前年比55%)  
 2025年3月~10月の実績比較  
 従業員数は新店出店により増加しているが、事故件数は減少。フォークリフト運転者に対し、毎月フォークリフトに特化したKYT教育を実施することで、安全意識やルール遵守の意識の醸成につながっている

### 今後の目標や展望

スマホを使用したKYTは、企業文化として定着しているため、今後も労働災害減少とポイントを絞ったKYTをやり続けることにより、安全意識の風化防止と安全教育を仕組み化し、労働災害ゼロを目指す。

# ベースは2022年度 SAFEアワードゴールド賞を受賞した スマホを使用した「KYT活動」

 **事故を未然に予見する！KYT活動（危険予知トレーニング）** 

**【背景・課題】** **【目的】** 2022年度 SAFEアワードゴールド賞 受賞

- ・店舗メンバー：約26,000人が在籍
- ・パート、アルバイトへの安全教育が行き届いていない
- ・店舗規模（従業員数）が30人～400人と格差が大きい

**【目的】**

- ・危険予知ができるメンバーを育成し、事故を予見することで未然に防止する

**【内容】**

- ・デジタルツール「Forms」を利用し、システム開発費用はなし
- ・店舗用スマホ型端末を使用し、個々の労働者のスケジュールに合わせて危険予知トレーニングを実施できる
- ・前月の労働災害を題材にすることが可能であり、毎月繰り返し実施する事で継続的な教育ができる

**12月度KYT（危険予知トレーニング）活動**

・このイラストは、実際の現場を撮影したものです。この事故は人命被害を及ぼすものではありません。ご了承ください。\*写真



マット（積重ねあり）

**【回答選択式】**

- カゴ車の車輪で足を踏む
- カゴ車が転倒して下敷きになる
- カゴ車の底板が抜ける

※毎月、15～25問前後出題

**【対象人数】** 全店舗（26,000人）

**【定量的効果】**

- ・月間平均実施率：85%～88%
- ・月間平均実施人数：約22,000～23,000人

6

カインズメンバーの85%～88%（22,000名～23,000名）が実施、高い実施率を維持  
メンバーに情報を発信するツールとして活用できる

## スマホを使用した「KYT活動」

### 内容

デジタルツール「Forms」を運用し、スマホ等を使用した危険予知トレーニングをアルバイトまで含めた全メンバーが毎月実施する

各自に合った方法で実施（スマホ・業務用端末・パソコンなど）



# スマホを使用した「KYT活動」

## 掲示用媒体

危険を予知する能力を養い、事故を未然に防ぐ

CAINZ

### 12月度 KYT活動

◆KYT(危険予知トレーニング)活動QRコード  
ここを読み取って**100点になるまで実施**

※実施手順は掲示板にある別紙を確認



KYT QRコード  
(全メンバー共通)



※**全メンバーが実施**してください。⇒本部で実施状況を確認します。

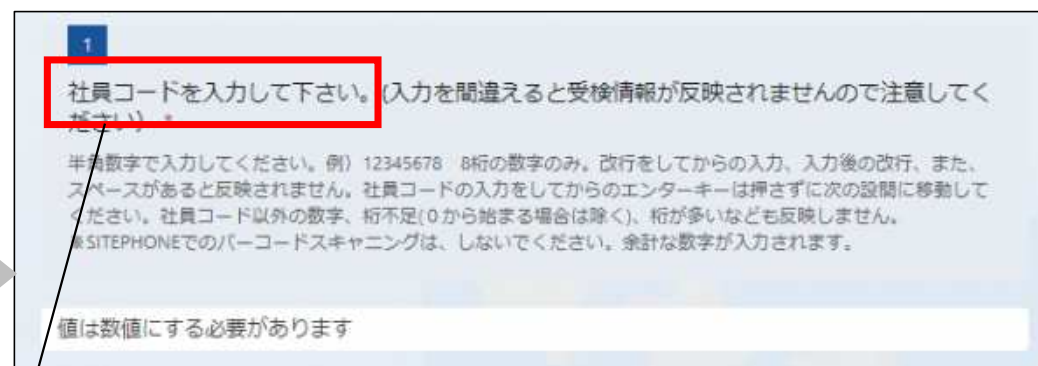
**期日：12月20日まで**

二次元コードを  
読み込んで開始

# スマホを使用した「KYT活動」



## 運用方法



社員コードを入力することで、一人ひとりの実施状況が確認できる

## スマホを使用した「KYT活動」

6

◆メンバーが床材の切り売り対応をしています。この後、どんな事故が発生するでしょうか。1つ選択してください。  
\* (5点)



切り売りの台に膝をぶつける  
 カッターで指を切る  
 目の前の棚が崩れる

切り売りの台に膝をぶつける  
 カッターで指を切る  
 目の前の棚が崩れる

### ポイント

- 選択式（基本3択）
- 正解を選択しないと次に進めない
- 作業時間目安：5分程度

## スマホを使用した「KYT活動」

7

【前のイラストの続き】カッターで自分の指を切ってしまいました。その**最も大きな原因**を選択してください。 \* (5点)



皮手袋を着用していなかった

カッターの刃が長かった

カッターで切る直線の上に指を置いていた

皮手袋を着用していなかった

カッターの刃が長かった

カッターで切る直線の上に指を置いていた

### ポイント

- 前問からつながっているストーリー形式
- 原因を理解させる  
原因を理解することで対策が生まれる

# スマホ型携帯端末を使用した「KYT活動」

8

この事故の例から、カッターで指を切る事故を防ぐ為に**心掛けること**で適切な物を選択  
該から**1つ選択**してください。\* (5点)



カッターで切る直線の上に指を置かない

切れ味の悪いカッターを使用する

カッターを使用する際は皮手袋を着用する

カッターで切る直線の上に指を置かない

切れ味の悪いカッターを使用する

カッターを使用する際は皮手袋を着用する

## ポイント

- 1問目：どんな事故が発生するか？
- 2問目：原因は何か
- 3問目：守ること、意識すること

**原因を明確にすることを意識**  
**なぜそうしなければならないかを伝える**

# カインズ流KYTのポイント



## 危険予測

細くて長い商品（荷物）は固定しにくい  
（下に抜けやすい）

- 靴の紐が引っかかり、転倒する
- カゴ車を動かした時、長い商品（荷物の支柱）が足の上に乗ろう ✓
- カゴ車の車輪が外れ転倒する

## 発生原因

- 細くて長い商品は固定が難しい（下に抜けやすい） ✓
- カゴ車の固定バンドが切れていた
- カゴ車の車輪が壊れていた

## 対策

- カゴ車に長くて細い商品が載っていたら台車に置き替える ✓
- 細くて長い商品はラップを巻く
- 細くて長い商品は押さえるながらカゴ車を動かす

### 画像のポイント

- ・ポイント箇所を濃淡で強調
- ・問題によってはヒントを追加
- ・内容の目線は初心者に合わせて

### 正解と不正解の違い、内容が記憶に残る

- ・不正解を明確に

### やり直しの発生

- ・Formsの分岐を利用し  
100点になるまで終わらない設計に

# 通常のKYTと「フォークリフトに特化したKYT」



カインズの事故累計の推移（フォークリフト起因の事故は減少していなかった）

事故の内容別

事故の内容	KYT開始前 (2020年)	開始5年後 (2025年)	差
売場を走った、よそ見	15	1	-14
重量物（什器等）が 足等に落下	14	3	-11
カゴ車使用中	14	7	-7
カート・台車による事故	10	3	-7
商品・備品に躓いて転倒	9	3	-6
積み込みサービス時に物損	6	8	+2
フォーク物損事故	5	9	+4
脚立・踏み台転倒	5	1	-4
フォーク人身事故	2	0	-2

起因物別

数値は件数、各9月までの値で集計

起因物	KYT開始前 (2020年)	開始5年後 (2025年)	差
カゴ車	16	5	-11
商品（重量物以外）	13	4	-9
什器	12	2	-10
備品	11	7	-4
商品（重量物）	10	4	-6
長台車	6	2	-4
リーチフォーク	4	9	+5
踏み台	3	0	-3
カウンターフォーク	3	0	-3

# 通常のKYTと「フォークリフトに特化したKYT」

## 掲示用媒体

危険を予知する能力を養い、事故を未然に防ぐ

CAINZ

### 4月度 KYT活動

◆KYT(危険予知トレーニング)活動QRコード  
ここを読み取って**100点になるまで**実施

	
フォーク運転者向け	フォーク運転者以外向け
	

※全メンバーがどちらか**1つ**(フォーク運転者はフォーク運転者向け)実施してください。⇒本部で実施状況を確認します。

**期日：4月24日まで**

フォーク運転者向け  
と  
運転者以外向けを用意

# 通常のKYTと「フォークリフトに特化したKYT」

## 実際の問題

10

このイラストは事故の直前を描いたものです。この後、どんな事故が発生するでしょうか？**1つ選択**してください。  
\* (4点)

最も可能性が高いものを選択してください



- 奥側のロック仕様が剥れる
- 天井の蛍光灯が落下する
- マストが出入口の上部に接触する



11

【前の問題の続き】マストが出入口の上部に接触しました。この事故の**原因**は3つあります。そのうちの**1つ**を選択してください。  
\* (4点)



- 天井が低かった
- 通路が窄くて見えなかった
- 出入口の高さが低かった（マストを少し上げると接触する環境）

# 通常のKYTと「フォークリフトに特化したKYT」

12

【前の問題の続き】原因の1つ目は「出入口の高さが低かった（マストを少し上げると接触する環境）」ことでした。2つ目の原因を選択してください。  
\* (4点)



- 作業する場所（マストを上げ下げする場所）から出入口までの距離が短かった
- 危険箇所が目立たなかった（トラチーブ貼る量が不足していた）
- ネスラックが邪魔だった



13

【前の問題の続き】原因の2つ目は「作業する場所（マストを上げ下げする場所）から出入口までの距離が短かった」ことでした。3つ目の原因を選択してください。  
\* (4点)



- 上に載っていたパレットが落下しそうになった
- マストを上げたままにしていた
- 物置に障害があった

# 通常のKYTと「フォークリフトに特化したKYT」

14

【前の問題の続き】(この環境で)同様の事故を防ぐ為に**対策**が大きく2つあります。そのうちの**1つ**を選択してください。  
\* (4点)

- 地面に蛍光塗料を塗る
- 作業場所から出入口までの距離が近くなる場所に荷物を置かない
- 蛍光灯の本数を増やす



15

【前の問題の続き】**対策**の1つ目は「作業場所から出入口までの距離が近くなる場所に荷物を置かない」ことでした。**対策**の**もう1つ**を選択してください。  
\* (4点)

この場所にもどうしても荷物を置かなければならない場合の対策を考えましょう。

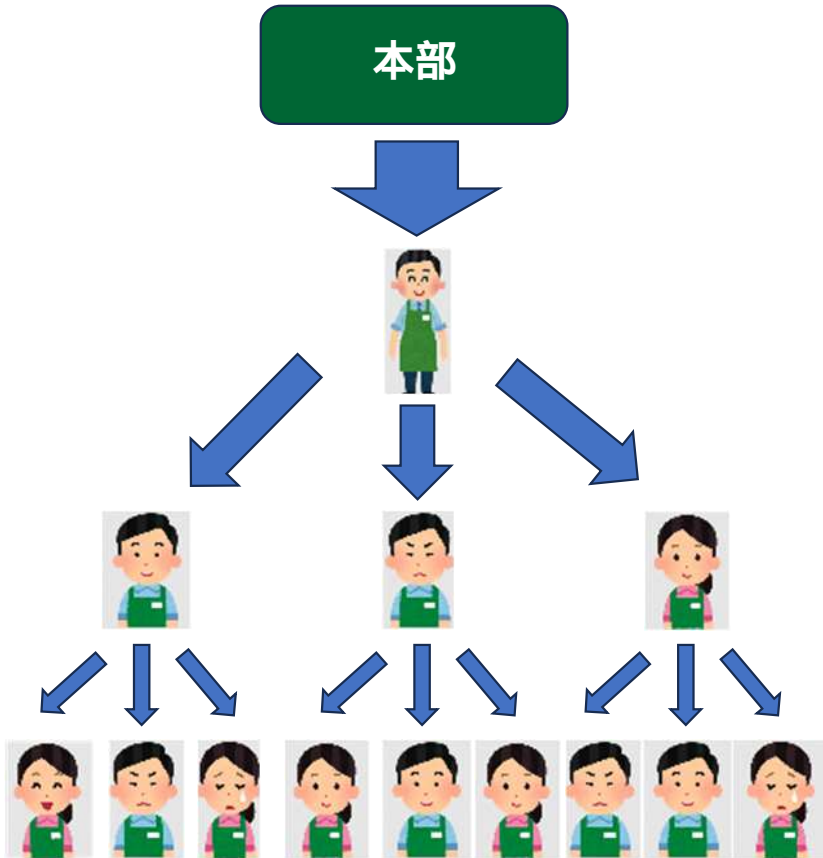
- 防犯カメラの設置高さを低くする
- ネスラックを撤去する
- 出入口の手前に停止線を設定し、その場所で一旦停止とマスト位置の確認を実施する。

フォークリフトKYTを実施してからフォークリフトの事故件数は大幅に減少  
前年20件 9件 (2025年3月～9月実績)

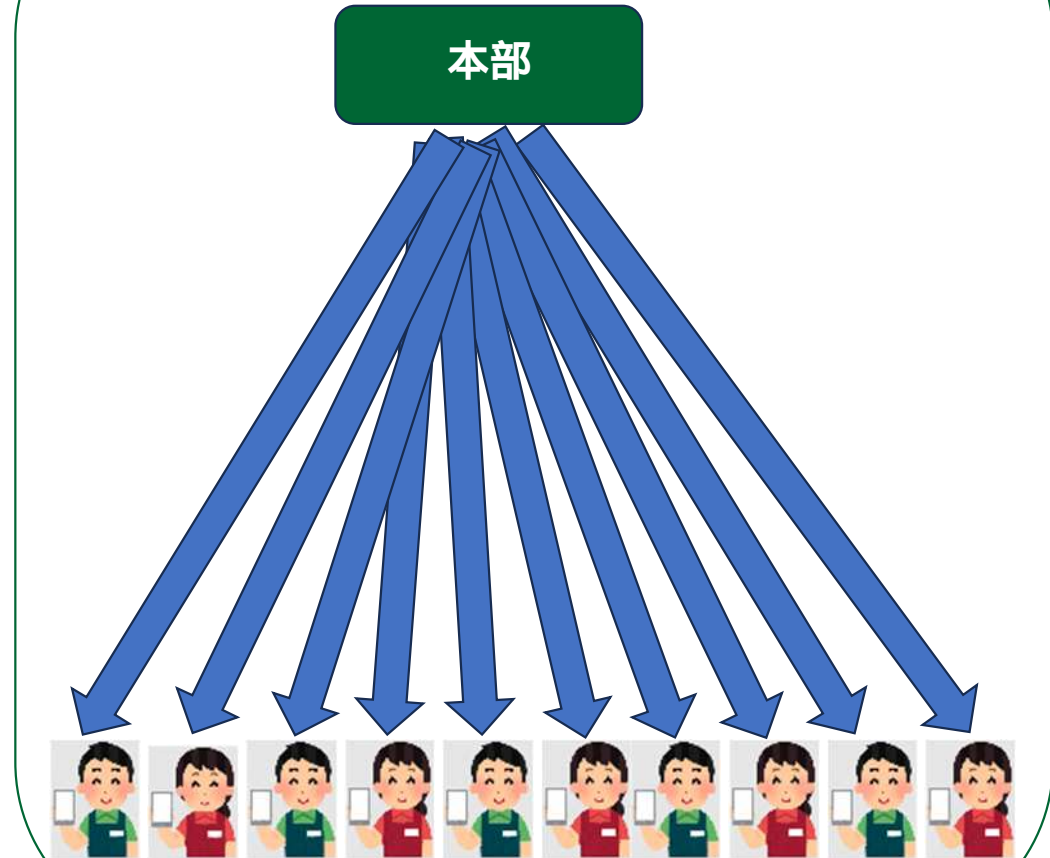
# カインズ流KYTのメリット（メンバーに伝わりやすい）

通常イメージ

階層を経るごとに伝わりにくい



カインズ流KYTのイメージ  
階層に関係なく同じように伝わる



# メンバーに伝わるようにする為に



進捗を管理する

- ・ 週次・月次での実施者リスト共有

実施する価値があると思ってもらう

- ・ アンケートの実施、メンバーの声の採用、事故の減少、原因と対策の正確性

あきさせない

- ・ タイムリーな内容（先月発生など）の採用、短い期間での繰り返し出題を避ける

現実味（自分ごと）がある

- ・ カインズオリジナルの画像使用、より多くのメンバーが関わる内容を採用

負担と感じにくい

- ・ 実施時間を5分程度になるように問題数を制限、すき間時間でも1回で完結できるように設計



**感じ方・捉え方は人によって違います。**  
**ターゲットとする人をその気にさせるポイントを見つけ**  
**それを伝えることが重要だと考えます。**

**ご清聴ありがとうございました！**